

【Q】43歳の息子についての相談です。31歳ころにうつ病となり、現在ほとんど毎日、朝晩晩と食べては寝ての生活を繰り返しています。医師から処方された薬を内服していますが、疲れやすく、言葉数も多くありません。どうしたら息子の元気が出るのか、よい方法を教えてください。



11

## 43歳息子が長くうつ病



秋山 恵  
あきやま けいいち

医療法人秋山会両毛病院（佐野市）院長。  
東京慈恵会医大卒。40歳。

【A】長期間、息子さんの元気が出ない状態が続いていることや、働き盛りであるにもかかわらず社会的に何もされていない様子は、親御さんとして心配のことだと思います。

うつ病の治療というと、休養と薬物療法が一般的であり、既に現在かかるされている医療機関でなされているものと思われます。

長引くうつ病の方の薬物療法以外の選択肢と

また、長期間うつ状態を示す精神疾患はほかにもいくつか知られています。この年代ですと、例えれば統合失調症などが疑われますが、その症状の中には「相談いただいた「何もせずに元気が出ない」

といふた症状を呈する」とがあります。

パソコンナリティー障害やいわゆる引きこもりの可能性も考えられ、それぞれ対応の仕方が少し異なる場合があります。

そのほか、甲状腺ホルモンや副腎皮質ホルモンの異常など身体疾患による

といった症状を呈する」とあります。

最後に、いずれの治療

も外

てみてはいかがでしょうか。

（第2、4金曜日掲載）



イラスト/松本成貴

つて、うつ状態が現れることが知られていて、それぞれの疾患に対する治療が異なります。

最後に、いずれの治療も外でうまくいかない場合には、入院という選択肢もあります。入院によって、これまでの生活がリセットできる利点

や医師や看護師が息子さんの状態をより多くの時間をかけて観察することができるため、注意深い診断・治療が可能となります。一度、ご検討されても外

# デイケアなども選択肢に

ドクターへの質問を募集します。お寄せいただいた中から毎月2件、紙面で回答します。病気の症状や経過などをなるべく詳しく書いてください。名前（匿名可）、年齢、性別、連絡先（住所、電話番号）を明記し、〒320-8686、下野新聞社くらし文化部「健康よろづ相談室」係へ。住所不要。FAX（020-6215-1185）、メール（dotto-ko@shimotsuke.co.jp）でも受け付けます。